



## 鴨居地区福祉まつり 特集 平成27年11月1日(日)開催

鴨居はあったかいね

横浜市緑区福祉保健センター  
担当部長 南 有里

11月1日、第15回を迎えた「鴨居福祉まつり」に参加させていただきました。

日頃から貴地区では、顔を合わせれば互いに思わず笑顔になるような「あったかい」まちづくりに、一丸となって取り組んでおられます。おまつり当日も、多世代の住民の方々が集い、会場全体がまるで大きなサロンのよう！開始前から、あちこちで挨拶と笑い声がきかれました。そして、体育館の入口では、常に、履き替えを譲り合い注意しあう「やさしい」声の掛け合いがありました。

「お互いさまの助け合い」に役立つコーナーの前では、体験しながら・展示を見ながら、いくつものおしゃべりの花が咲いていました。

おまつりの醍醐味である模擬店やフリーマーケットは、ずっと賑やか！

まさに「楽しもう！つながろう！顔の見える関係」というテーマにふさわしく、会場全体が活気に溢れていました。

オープニングでは、鴨居小学校の児童の方々による元気な演技を拝見しました。その際ふと、「第1回の時に在籍していた児童の方々のお子さんの世代」と気付きました。

改めて、「人にやさしい、住みやすいまちづくり」のため、様々な取組を、いつも笑顔で継続してこられた皆様のパワーはすごい、と実感いたしました。

今後とも、区政へのご支援を、よろしく願いたします。

### まつり風景



大人気のわたがし！

上手に作れるかな？



「鴨居福祉まつり」に参加して

鴨居四丁目 越後 和之

秋晴れの中初めて「鴨居福祉まつり」に参加しました。紙籠作り、竹笛作り、紙の貼り絵カード作りなど子供達が目を輝かせて作っているのが印象的でした。健康測定では自分の体力に一喜一憂してデータを見せ合ったり、周りの人たちを巻き込んで笑いの連鎖が起こっていました。福祉川柳コーナーではニヤッとする作品や「なるほど、そうだよ」という多くの作品に触れ感動いたしました。

二人の娘夫婦と五人の孫達も参加して、消防自動車に乗ったり、自分の名前を点字で書いたり、もうすぐ3歳になる孫は笛作りを指導して下さっている方の膝の上に、ちょこんと座って竹笛を作っていました。

大人から子供まで参加でき非常に楽しい一日でした。来年も又みんなで参加したいと思います。また、このような福祉まつりを開催して頂きました皆様に感謝申し上げます。

福祉川柳コンテスト

〽 入選作品紹介 〽

第一位

わが人生 心をつなぐ友がいて

渡邊 勇

第二位

大事なら しまうな二度と出てこない！

サロンちゃん

第三位

百の祖母 老後に備え 貯金する

小宮山 政行

右のとおり、ご寄付をいただきました。ありがとうございます。

ふうせんのトラちゃん： ¥4,116-

衣類リユース： ¥1,872-

メソソヴェルト： ¥2,000-

(+小学生へのわたがし提供 77 個分)

## 福祉まつりに参加して

鴨居小学校 校長 石原 敏宏

鴨居の福祉まつりに初めて参加させていただきました。本校の5・6年生の有志が「ソーラン節」や「レッツダンス ウィズ ヨコハマ」を踊らせていただきました。また、子どもたちは盲導犬と触れ合ったり点字体験をしたりと楽しい時間を過ごすことができました。

本校を会場として鴨居の地域行事を行っていただくことで、小学生が参加しやすくなり、子どもたちにとっては地域に馴染み、その一員であることを感じられる貴重な時間となっています。また、子どもたちを見守ってくださる地域の方々の眼差しがとても温かく、ありがたく感じています。

小学校でも授業の中で福祉について学ぶ機会がありますが、こうして地域の方々の中で学ぶことも貴重な経験です。今回福祉まつりに参加させていただいて、地域とともにあゆむ子どもたちを育てていきたいという想いをより強くいたしました。

～元気いっぱい！ ソーラン節！！～



鴨居小学校六年 清水 諒

「どっこいしょ、どっこいしょ。」鴨居小の校庭にこの声が響く。

僕は11月1日に福祉まつりに参加し、ソーラン節を踊った。先生から格好いい法被を受け取った。運動会の時の緊張がよみがえり、僕の心は「ドキドキ」でいっぱいになった。

そして、本番。音楽が流れ始める。5年生とともに演技をした。曲の最後、「やーっ！」の掛け声。僕の緊張はなくなり、ホッとした気持ちとともに達成感が感じられた。終わった後にお客さんからの拍手で、僕はとてもうれしい気持ちになった。でも僕たち6年生は、まだ終わりじゃない。

閉会式の中で、また演技をする。僕は「最後までカッコよく決めたい。」という気持ちがあった。この演技は、先週行われた横浜市立体育大会で踊ったものだ。体育大会と同じようにミスなくきれいに踊ることができた。思い出に残る一日となり、よかった。

## 福祉まつりに参加して

民生児童委員 英 美利里

さわやかな秋晴れの下、私たち民生委員は、『ほっとカフェ』を出店致しました。民生委員2年目の私は、まだまだ右往左往するばかりで、先輩たちのてきぱきとした動きを見ながらついていくのがやっとの思いでした。が、いざ販売がスタートすると、大勢の方々にお越し頂き、地域の皆様との和やかな会話のひと時を楽しむことができました。手作り感あふれる売り場で、心を込めて淹れたコーヒーを、多くの方々に楽しんで頂けていたら幸いです。

また販売の合間には、小学6年生の有志の皆さんによる力強いソーラン節、横浜の体操、中学生の有志の皆さんによる素晴らしい鴨居囃子も楽しませて頂きました。世代を越えて地域の方々が交流できる場に参加できたことをうれしく感じるとともに、今後の日々の活動に精進していきたいと思います。



## 福祉まつりに寄せて

鴨居おやじの会 会長 入原 康

ここ最近では豚汁作りで福祉まつりをお手伝いさせていただいていますが、福祉まつりは私にとって大好きなイベントです。

お年寄りから子供までひとつのイベントを楽しめるし、盲導犬体験や点字体験などで身体的にハンデのある方々の日常の一端も体験できて思いやりの心も育つと感じているからです。

お年寄り、子供、ハンデのある方が顔を会わせる機会の有効性からしても、福祉まつりは今後も継続して地域全体での思いやりを育むイベントであってほしいです。

鴨居おやじの会としても、来ていただく皆様に楽しんでいただけるよう、今後ともお手伝いさせていただきます。



おいしい豚汁！

## 編集後記

今年の福祉まつり、例年にも増して多くの方々にご来場いただきました。主催者の一員として、本当に感謝しております。

今後とも、鴨居の福祉にかかわる様々な取り組みを多くの方々に知っていただくとともに、関係団体の皆様にも楽しんでいただける行事として、いっそう発展させていきたいと、強く思った次第です。

寒暖差が激しい時期です。お体をお大事に。